三菱電機株式会社 シンプルモーションユニット
MELSEC-Q シリーズ
QD77MS4

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

(1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。

(2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。

(3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。

(4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。

(5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。

(6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。

(7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

1. 概要 5
2. システム構成 5
3. GOT について 5
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション 5
3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定 5
3.3 作画ソフトウェアの Ethernet の設定 6
3.4 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定 6
4. シンプルモーションユニットについて 6
4.1 ユニットの先頭入出力番号 6
5. 画面仕様 6
5.1 表示言語 6
5.2 画面遷移 6
5.3 画面説明 9
5.3.1 メニュー (B-30001) 9
5.3.2 運転モニタ (B-30002) 10
5.3.3 入出力モニタ (B-30003) 11
5.3.4 軸モニタ 1/4 (B-30004) 12
5.3.5 軸モニタ 2/4 (B-30005) 13
5.3.6 軸モニタ 3/4 (B-30006) 14
5.3.7 軸モニタ 4/4 (B-30007) 15
5.3.8 エラー&ワーニング履歴 (B-30008) 16
5.3.9 マニュアル表示 (B-30500) 17
5.3.10 アラームリセット (W-30001) 19
5.3.11 言語設定 (W-30002) 20
5.3.12 時計設定 (W-30003) 21
5.4 使用デバイス一覧 22
5.5 コメント一覧 30
5.6 スクリプト一覧 30
6. マニュアル表示について 33
6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備 33
7. その他 34
7.1 先頭入出力番号の変更 34

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2013/9	BCN-P5999-0083	初版
2015/2	BCN-P5999-0083-2	ドキュメント ID のデバイス指定

＊ 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

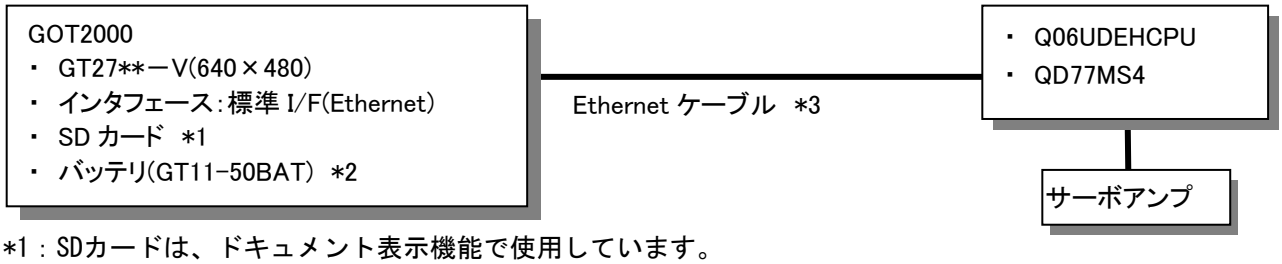
改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2013/9	MITSUBISHI_QD77MS4_V_Ver1_J.GTX	1.100E	初版
2015/2	MITSUBISHI_QD77MS4_V_Ver2_J.GTX	1.126G	ドキュメント ID のデバイス指定

＊ プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT2000 と MELSEC-Q シリーズシーケンサ(Q06UDEHCPU)を Ethernet で接続し、シンプルモーションユニット(QD77MS4)の各軸のステータス、バッファメモリ(現在値、アラームなど)をモニタするサンプル画面の説明書です。

2. システム構成



*1 : SDカードは、ドキュメント表示機能で使用しています。
*2 : バッテリは、時計データの停電保持に使用しています。(バッテリはGOT本体に標準装備しています。)
*3 : ケーブルの詳細については、「GOT2000シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)」を参照してください。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称		
基本機能	基本システムアプリケーション		
	標準フォント		日本語
通信ドライバ	Ethernet 接続		Ethernet(MELSEC), Q17nNC, CRnD-700, ゲートウェイ
拡張機能	標準フォント		中国語(簡体)
	アウトラインフォント	ゴシック	英数かな
			日本語漢字
			中国(簡体)漢字
	ドキュメント表示		

3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定

詳細設定

項　目	設定値	備 考
GOT NET No.	1	
GOT 局番	2	
GOT Ethernet 設定	下表を参照	
GOT 機器通信用ポート No.	5001	
リトライ回数(回)	3	
立ち上がり時間(秒)	3	
通信タイムアウト時間(秒)	3	
送信ディレイ時間(ms)	0	

GOT Ethernet 設定

項　目	設定値	備 考
GOT Ethernet 設定を本体に反映する	チェック有り	
GOT IP アドレス	192.168.3.18	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
周辺 S/W 通信用ポート No.	5015	
トランスペアレント用ポート No.	5014	

3.3 作画ソフトウェアの Ethernet の設定

	自局	Net No.	局番	機器	IP アドレス	ポート No.	通信方式
1	*	1	1	QnUD(P)V/QnUDEH	192.168.3.39	5006	UDP

3.4 作画ソフトウェアのオーバーラップウィンドウ設定

ベース画面の切り換え時にウィンドウ画面を閉じるために、[画面切り換え/ウィンドウ]のオーバーラップウィンドウの[詳細設定]で[ベース画面の切り換えと同時にウィンドウを閉じる]を有効にしています。

4. シンプルモーションユニットについて

4.1 ユニットの先頭入出力番号

ユニットの先頭入出力番号は 0H で設定しています。先頭入出力番号を変更する場合は「7.1　先頭入出力番号の変更」を参照してください。

5. 画面仕様

5.1 表示言語

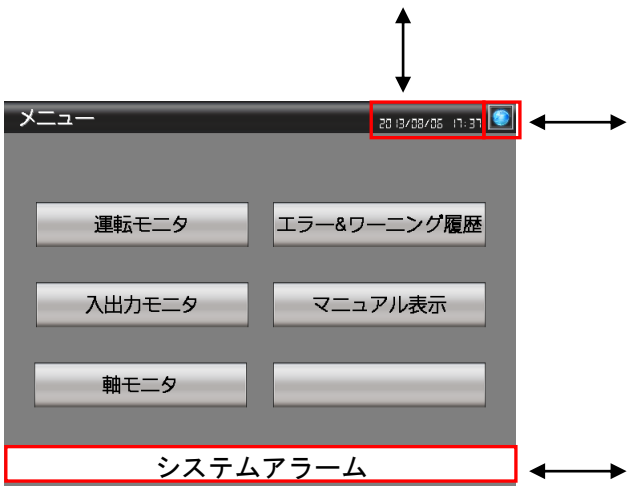
画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の 3 言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No.500 の列 No.1～3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No. を格納すると列 No. に対応した言語を表示します。

列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

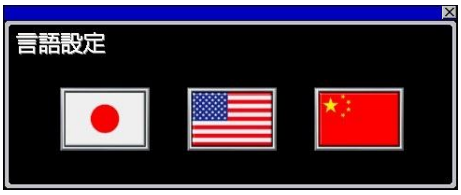
5.2 画面一覧･遷移

5.2.1　画面一覧･遷移(共通)

ウィンドウ画面 W-30003：時計設定



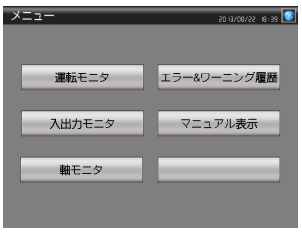
ベース画面 B-30001：メニュー他全ベース画面



ウィンドウ画面 W-30002：言語設定

ウィンドウ画面 W-30001：アラームリセット

5.2.2 画面一覧・遷移(個別)

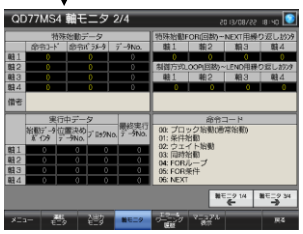


ベース画面 B-30001：メニュー

ベース画面 B-30002：運転モニタ

ベース画面 B-30003：入出力モニタ

ベース画面 B-30004：軸モニタ 1/4



ベース画面 B-30005：軸モニタ 2/4

ベース画面 B-30006：軸モニタ 3/4

ベース画面 B-30007：軸モニタ 4/4

次頁へ

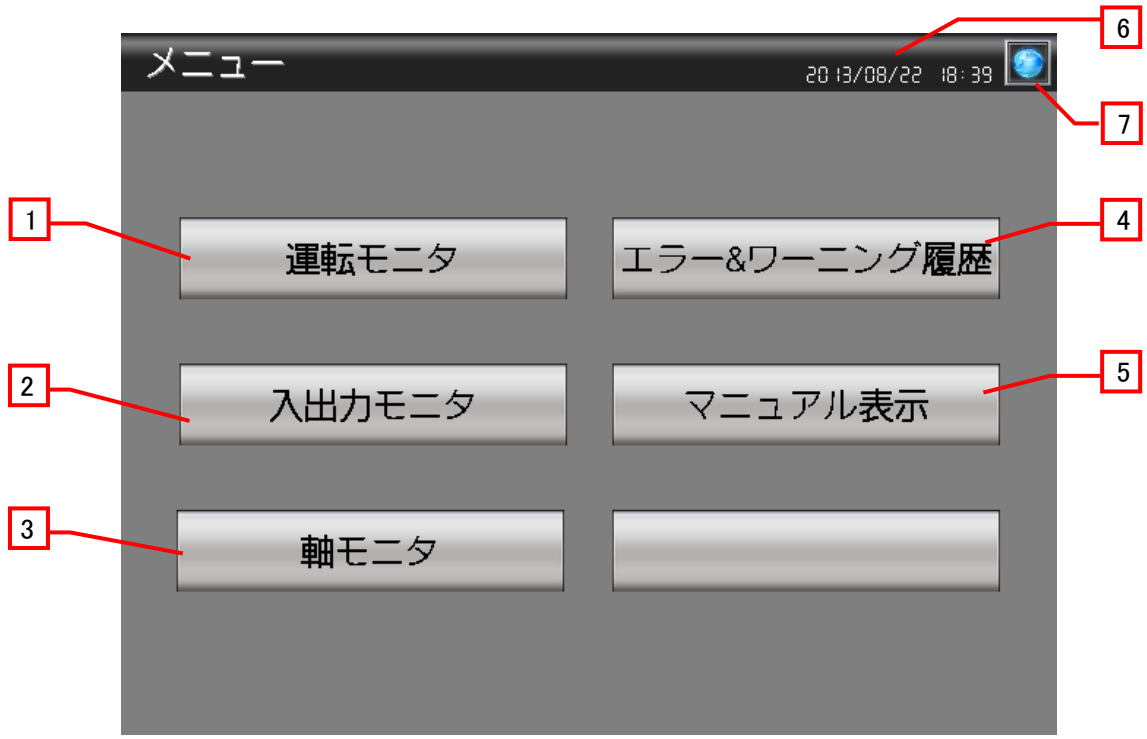
前頁より

ベース画面 B-30008：エラー&ワーニング履歴

ベース画面 B-30500：マニュアル表示

5.3 画面説明

5.3.1 メニュー (B-30001)



概要

メニュー画面です。

詳細

1. 運転モニタ画面に切り換えます。
2. 入出力モニタ画面に切り換えます。
3. 軸モニタ画面(1/4)に切り換えます。
4. エラー&ワーニング履歴画面に切り換えます。
5. マニュアル表示画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.1 運転モニタ (B-30002)

概要

QD77MS4 の運転モニタ画面です。

詳細

1. 軸 1～軸 4 の下記について表示します。
   - ・送り現在値/軸送り速度
   - ・軸状態/エラー/ワーニング/M コード
   - ・緊急停止入力
   - ・始動データ No./パターン
   - ・制御方式/補間対象/加速時間/減速時間
2. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
3. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
4. 前回表示していた画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.2 入出力モニタ (B-30003)

概要

QD77MS4 の入出力モニタ画面です。

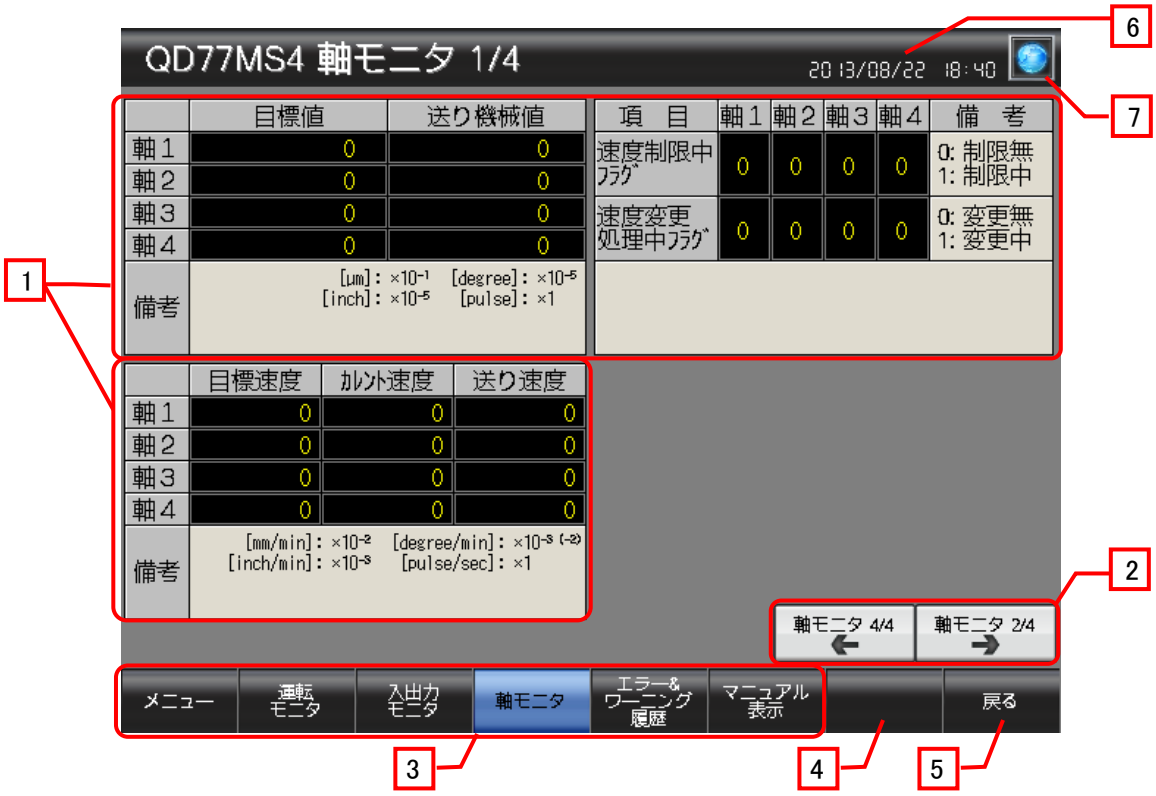
詳細

1. 入出力状態を表示します。
2. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
3. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
4. 前回表示していた画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.3 軸モニタ 1/4 (B-30004)



概要

QD77MS4 の軸モニタ画面(1/4)です。

詳細

1. 軸 1～軸 4 の下記について表示します。
   - ・目標値/送り機械値
   - ・目標速度/カレント速度/送り速度
   - ・速度制御中フラグ/速度変更処理中フラグ
2. 軸モニタ画面をページ切り換えします。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.4 軸モニタ 2/4 (B-30005)

概要

QD77MS4 の軸モニタ画面(2/4)です。

詳細

1. 軸 1～軸 4 の下記について表示します。
   - 特殊始動データ(命令コード/命令パラメータ/データ No.)
   - 実行中データ(始動データポインタ/位置決めデータ No./ブロック No.)/最終実行データ No.
   - 特殊始動 FOR(回数)/制御方式 LOOP(回数)
2. 軸モニタ画面をページ切り換えします。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.5 軸モニタ 3/4 (B-30006)

概要

QD77MS4 の軸モニタ画面(3/4)です。

詳細

1. 軸 1～軸 4 の下記について表示します。
   - 原点復帰再移動量/実現在値/偏差カウンタ値
   - モータ回転数/モータ電流値
   - サーボアンプ S/W 番号
2. 軸モニタ画面をページ切り換えします。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.6 軸モニタ 4/4 (B-30007)

概要

QD77MS4 の軸モニタ画面(4/4)です。

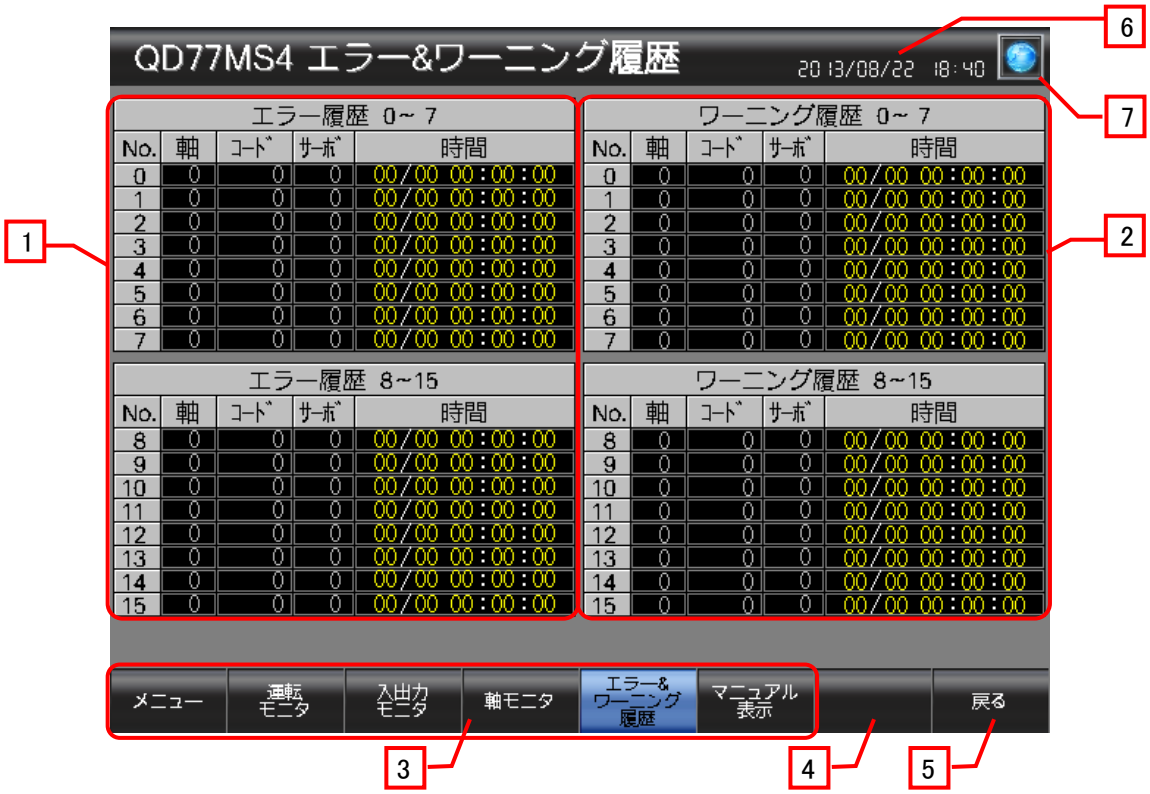
詳細

1. 軸 1～軸 4 の下記について表示します。
   - ・パラメータエラー番号
   - ・サーボステータス信号
   - ・回生負荷率/実効負荷率/ピーク負荷率
2. 軸モニタ画面をページ切り換えします。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.7 エラー&ワーニング履歴 (B-30008)



概要

QD77MS4 のエラー&ワーニング履歴画面です。

詳細

1. エラー履歴を表示します。
2. ワーニング履歴を表示します。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.8 マニュアル表示 (B-30500)

概要

表示中の言語に対応したマニュアルを表示します。

詳細

1. マニュアル表示は、言語に応じてそれぞれドキュメント ID 201～203 のドキュメントを表示します。画面初回表示時は 1 ページ目を表示します。ドキュメント上をタッチした状態で 8 方向にフリックするとドキュメントを 8 方向にスクロール表示します。ドキュメントの端が表示されている状態でフリックすると、ページを切り換えます。ピンチイン・ピンチアウトすると、大・中・小の 3 段階で、ドキュメントが切り換わります。
2. 表示しているドキュメントを操作します。
   : 表示しているドキュメントを拡大/縮小します。
   : 表示しているドキュメントを左右にスクロールします。
   : 表示しているドキュメントを上下にスクロールします。
3. 表示しているドキュメントのページを操作します。
   P. 1 : 表示しているドキュメントのページ数を表示します。数値をタッチするとページ番号を変更できます。
   : 表示しているドキュメントをページ送り/ページ戻しします。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・ マニュアル表示のドキュメントは表示言語切り換えに追従します。コメントグループ列 No.と言語、ドキュメント ID は下表のように対応しています。

コメントグループ列 No.	言語	ドキュメント ID
1	日本語	201
2	英語	202
3	中国語(簡体)	203

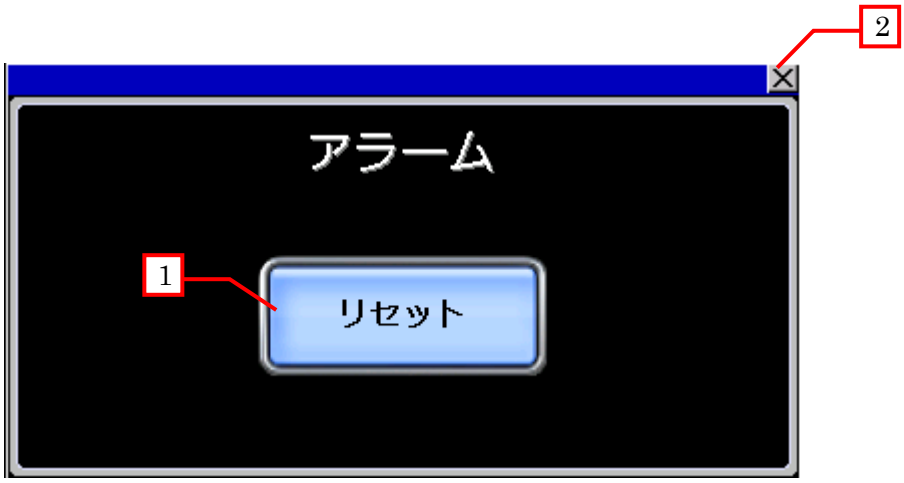
・ GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてドキュメントページ No.に「1」、およびドキュメント ID に「201」を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

・ ページ送りスイッチはオブジェクトスクリプトにて総ページ数を超えないようにしています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

・ マニュアル表示用のドキュメントデータは、お客様で作成してください。詳細については、「6.マニュアル表示について」を参照してください。

・ システムアラームが発生した場合、画面下部にアラームメッセージを表示します。メッセージの左端をタッチすると、表示位置が画面上部、画面中央、画面下部の順に切り換わります。それ以外をタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

5.3.9 アラームリセット (W-30001)



概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、１秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

5.3.10 言語設定 (W-30002)

概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

・表示言語にあわせてシステム言語とマニュアル表示のドキュメントも切り換える設定をしています。

5.3.11 時計設定 (W-30003)

概要

GOT の時計データを変更します。

詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を▼▲スイッチで設定します。▼▲スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、１秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

・変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
・変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については「7.1　先頭入出力番号の変更」および「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

5.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	X0000	入力信号 QD77 準備完了
	X0001	入力信号 同期用フラグ
	X0004	入力信号 M コード ON_軸１
	X0005	入力信号 M コード ON_軸２
	X0006	入力信号 M コード ON_軸３
	X0007	入力信号 M コード ON_軸４
	X0008	入力信号 エラー検出_軸１
	X0009	入力信号 エラー検出_軸２
	X000A	入力信号 エラー検出_軸３
	X000B	入力信号 エラー検出_軸４
	X000C	入力信号 BUSY_軸１
	X000D	入力信号 BUSY_軸２
	X000E	入力信号 BUSY_軸３
	X000F	入力信号 BUSY_軸４
	X0010	入力信号 始動完了_軸１
	X0011	入力信号 始動完了_軸２
	X0012	入力信号 始動完了_軸３
	X0013	入力信号 始動完了_軸４
	X0014	入力信号 位置決め完了_軸１
	X0015	入力信号 位置決め完了_軸２
	X0016	入力信号 位置決め完了_軸３
	X0017	入力信号 位置決め完了_軸４
	Y0000	出力信号 シーケンサレディ
	Y0001	出力信号 全軸サーボ ON 信号
	Y0004	出力信号 軸停止_軸１
	Y0005	出力信号 軸停止_軸２
	Y0006	出力信号 軸停止_軸３
	Y0007	出力信号 軸停止_軸４
	Y0008	出力信号 正転 JOG 始動_軸１
	Y0009	出力信号 逆転 JOG 始動_軸１
	Y000A	出力信号 正転 JOG 始動_軸２
	Y000B	出力信号 逆転 JOG 始動_軸２
	Y000C	出力信号 正転 JOG 始動_軸３
	Y000D	出力信号 逆転 JOG 始動_軸３
	Y000E	出力信号 正転 JOG 始動_軸４
	Y000F	出力信号 逆転 JOG 始動_軸４
	Y0010	出力信号 位置決め始動_軸１
	Y0011	出力信号 位置決め始動_軸２
	Y0012	出力信号 位置決め始動_軸３
	Y0013	出力信号 位置決め始動_軸４
	Y0014	出力信号 実行禁止フラグ_軸１
	Y0015	出力信号 実行禁止フラグ_軸２
	Y0016	出力信号 実行禁止フラグ_軸３
	Y0017	出力信号 実行禁止フラグ_軸４
ワード	U00-G800	軸１ 送り現在値
	U00-G802	軸１ 送り機械値

タイプ	デバイス番号	用途
	U00-G806	軸１ エラー
	U00-G807	軸１ ワーニング
	U00-G808	軸１ Mコード
	U00-G809	軸１ 軸状態
	U00-G810	軸１ カレント速度
	U00-G812	軸１ 軸送り速度
	U00-G818	軸１ 目標値
	U00-G820	軸１ 目標速度
	U00-G827	軸１ 命令コード
	U00-G828	軸１ 命令パラメータ
	U00-G829	軸１ 始動データ No
	U00-G830	軸１ 速度制限中
	U00-G831	軸１ 速度変更処理中
	U00-G832	軸１ 特殊始動カウンタ
	U00-G833	軸１ 制御方式カウンタ
	U00-G834	軸１ 始動データポインタ
	U00-G835	軸１ 位置決めデータ No.
	U00-G836	軸１ ブロック No.
	U00-G837	軸１ 最終実行データ No.
	U00-G838	軸１ 補間対象、加速時間、減速時間、パターン、制御方式
	U00-G848	軸１ 原点復帰再移動量
	U00-G850	軸１ 実現在値
	U00-G852	軸１ 偏差カウンタ値
	U00-G854	軸１ モータ回転数
	U00-G856	軸１ モータ電流値
	U00-G864	軸１ サーボアンプ S/W 番号_1、2
ワード	U00-G865	軸１ サーボアンプ S/W 番号_3、4
	U00-G866	軸１ サーボアンプ S/W 番号_5、6
	U00-G867	軸１ サーボアンプ S/W 番号_7、8
	U00-G868	軸１ サーボアンプ S/W 番号_9、10
	U00-G869	軸１ サーボアンプ S/W 番号_11、12
	U00-G870	軸１ パラメータエラー番号
	U00-G876	軸１ 零速度中、零点通過
	U00-G877	軸１ レディ ON、サーボ ON、アラーム中、インポジション、トルク制限中、絶対値消失中、警告中
	U00-G878	軸１ 回生負荷率
	U00-G879	軸１ 実効負荷率
	U00-G880	軸１ ピーク負荷率
	U00-G900	軸２ 送り現在値
	U00-G902	軸２ 送り機械値
	U00-G906	軸２ エラー
	U00-G907	軸２ ワーニング
	U00-G908	軸２ Mコード
	U00-G909	軸２ 軸状態
	U00-G910	軸２ カレント速度
	U00-G912	軸２ 軸送り速度
	U00-G918	軸２ 目標値
	U00-G920	軸２ 目標速度
	U00-G927	軸２ 命令コード
	U00-G928	軸２ 命令パラメータ
	U00-G929	軸２ 始動データ No
	U00-G930	軸２ 速度制限中
	U00-G931	軸２ 速度変更処理中

タイプ	デバイス番号	用途
	U00-G932	軸２ 特殊始動カウンタ
	U00-G933	軸２ 制御方式カウンタ
	U00-G934	軸２ 始動データポインタ
	U00-G935	軸２ 位置決めデータ No.
	U00-G936	軸２ ブロック No.
	U00-G937	軸２ 最終実行データ No.
	U00-G938	軸２ 補間対象、加速時間、減速時間、パターン、制御方式
	U00-G948	軸２ 原点復帰再移動量
	U00-G950	軸２ 実現在値
	U00-G952	軸２ 偏差カウンタ値
	U00-G954	軸２ モータ回転数
	U00-G956	軸２ モータ電流値
	U00-G964	軸２ サーボアンプ S/W 番号_1、2
	U00-G965	軸２ サーボアンプ S/W 番号_3、4
	U00-G966	軸２ サーボアンプ S/W 番号_5、6
	U00-G967	軸２ サーボアンプ S/W 番号_7、8
	U00-G968	軸２ サーボアンプ S/W 番号_9、10
	U00-G969	軸２ サーボアンプ S/W 番号_11、12
	U00-G970	軸２ パラメータエラー番号
	U00-G976	軸２ 零速度中、零点通過
	U00-G977	軸２ レディ ON、サーボ ON、アラーム中、インポジション、トルク制限中、絶対値消失中、警告中
	U00-G978	軸２ 回生負荷率
	U00-G979	軸２ 実効負荷率
	U00-G980	軸２ ピーク負荷率
	U00-G1000	軸３ 送り現在値
ワード	U00-G1002	軸３ 送り機械値
	U00-G1006	軸３ エラー
	U00-G1007	軸３ ワーニング
	U00-G1008	軸３ M コード
	U00-G1009	軸３ 軸状態
	U00-G1010	軸３ カレント速度
	U00-G1012	軸３ 軸送り速度
	U00-G1018	軸３ 目標値
	U00-G1020	軸３ 目標速度
	U00-G1027	軸３ 命令コード
	U00-G1028	軸３ 命令パラメータ
	U00-G1029	軸３ 始動データ No
	U00-G1030	軸３ 速度制限中
	U00-G1031	軸３ 速度変更処理中
	U00-G1032	軸３ 特殊始動カウンタ
	U00-G1033	軸３ 制御方式カウンタ
	U00-G1034	軸３ 始動データポインタ
	U00-G1035	軸３ 位置決めデータ No.
	U00-G1036	軸３ ブロック No.
	U00-G1037	軸３ 最終実行データ No.
	U00-G1038	軸３ 補間対象、加速時間、減速時間、パターン、制御方式
	U00-G1048	軸３ 原点復帰再移動量
	U00-G1050	軸３ 実現在値
	U00-G1052	軸３ 偏差カウンタ値
	U00-G1054	軸３ モータ回転数
	U00-G1056	軸３ モータ電流値
	U00-G1064	軸３ サーボアンプ S/W 番号_1、2

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	U00-G1065	軸３ サーボアンプ S/W 番号_3、4
	U00-G1066	軸３ サーボアンプ S/W 番号_5、6
	U00-G1067	軸３ サーボアンプ S/W 番号_7、8
	U00-G1068	軸３ サーボアンプ S/W 番号_9、10
	U00-G1069	軸３ サーボアンプ S/W 番号_11、12
	U00-G1070	軸３ パラメータエラー番号
	U00-G1076	軸３ 零速度中、零点通過
	U00-G1077	軸３ レディ ON、サーボ ON、アラーム中、インポジション、トルク制限中、絶対値消失中、警告中
	U00-G1078	軸３ 回生負荷率
	U00-G1079	軸３ 実効負荷率
	U00-G1080	軸３ ピーク負荷率
	U00-G1100	軸４ 送り現在値
	U00-G1102	軸４ 送り機械値
	U00-G1106	軸４ エラー
	U00-G1107	軸４ ワーニング
	U00-G1108	軸４ M コード
	U00-G1109	軸４ 軸状態
	U00-G1110	軸４ カレント速度
	U00-G1112	軸４ 軸送り速度
	U00-G1118	軸４ 目標値
	U00-G1120	軸４ 目標速度
	U00-G1127	軸４ 命令コード
	U00-G1128	軸４ 命令パラメータ
	U00-G1129	軸４ 始動データ No
	U00-G1130	軸４ 速度制限中
	U00-G1131	軸４ 速度変更処理中
	U00-G1132	軸４ 特殊始動カウンタ
	U00-G1133	軸４ 制御方式カウンタ
	U00-G1134	軸４ 始動データポインタ
	U00-G1135	軸４ 位置決めデータ No.
	U00-G1136	軸４ ブロック No.
	U00-G1137	軸４ 最終実行データ No.
	U00-G1138	軸４ 補間対象、加速時間、減速時間、パターン、制御方式
	U00-G1148	軸４ 原点復帰再移動量
	U00-G1150	軸４ 実現在値
	U00-G1152	軸４ 偏差カウンタ値
	U00-G1154	軸４ モータ回転数
	U00-G1156	軸４ モータ電流値
	U00-G1164	軸４ サーボアンプ S/W 番号_1、2
	U00-G1165	軸４ サーボアンプ S/W 番号_3、4
	U00-G1166	軸４ サーボアンプ S/W 番号_5、6
	U00-G1167	軸４ サーボアンプ S/W 番号_7、8
	U00-G1168	軸４ サーボアンプ S/W 番号_9、10
	U00-G1169	軸４ サーボアンプ S/W 番号_11、12
	U00-G1170	軸４ パラメータエラー番号
	U00-G1176	軸４ 零速度中、零点通過
	U00-G1177	軸４ レディ ON、サーボ ON、アラーム中、インポジション、トルク制限中、絶対値消失中、警告中
	U00-G1178	軸４ 回生負荷率
	U00-G1179	軸４ 実効負荷率
	U00-G1180	軸４ ピーク負荷率
	U00-G1293	エラー履歴_No.0_軸

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	U00-G1294	エラー履歴_No.0_コード
	U00-G1295	エラー履歴_No.0_日、時
	U00-G1296	エラー履歴_No.0_分、秒
	U00-G1297	エラー履歴_No.1_軸
	U00-G1298	エラー履歴_No.1_コード
	U00-G1299	エラー履歴_No.1_日、時
	U00-G1300	エラー履歴_No.1_分、秒
	U00-G1301	エラー履歴_No.2_軸
	U00-G1302	エラー履歴_No.2_コード
	U00-G1303	エラー履歴_No.2_日、時
	U00-G1304	エラー履歴_No.2_分、秒
	U00-G1305	エラー履歴_No.3_軸
	U00-G1306	エラー履歴_No.3_コード
	U00-G1307	エラー履歴_No.3_日、時
	U00-G1308	エラー履歴_No.3_分、秒
	U00-G1309	エラー履歴_No.4_軸
	U00-G1310	エラー履歴_No.4_コード
	U00-G1311	エラー履歴_No.4_日、時
	U00-G1312	エラー履歴_No.4_分、秒
	U00-G1313	エラー履歴_No.5_軸
	U00-G1314	エラー履歴_No.5_コード
	U00-G1315	エラー履歴_No.5_日、時
	U00-G1316	エラー履歴_No.5_分、秒
	U00-G1317	エラー履歴_No.6_軸
	U00-G1318	エラー履歴_No.6_コード
	U00-G1319	エラー履歴_No.6_日、時
	U00-G1320	エラー履歴_No.6_分、秒
	U00-G1321	エラー履歴_No.7_軸
	U00-G1322	エラー履歴_No.7_コード
	U00-G1323	エラー履歴_No.7_日、時
	U00-G1324	エラー履歴_No.7_分、秒
	U00-G1325	エラー履歴_No.8_軸
	U00-G1326	エラー履歴_No.8_コード
	U00-G1327	エラー履歴_No.8_日、時
	U00-G1328	エラー履歴_No.8_分、秒
	U00-G1329	エラー履歴_No.9_軸
	U00-G1330	エラー履歴_No.9_コード
	U00-G1331	エラー履歴_No.9_日、時
	U00-G1332	エラー履歴_No.9_分、秒
	U00-G1333	エラー履歴_No.10_軸
	U00-G1334	エラー履歴_No.10_コード
	U00-G1335	エラー履歴_No.10_日、時
	U00-G1336	エラー履歴_No.10_分、秒
	U00-G1337	エラー履歴_No.11_軸
	U00-G1338	エラー履歴_No.11_コード
	U00-G1339	エラー履歴_No.11_日、時
	U00-G1340	エラー履歴_No.11_分、秒
	U00-G1341	エラー履歴_No.12_軸
	U00-G1342	エラー履歴_No.12_コード
	U00-G1343	エラー履歴_No.12_日、時
	U00-G1344	エラー履歴_No.12_分、秒
	U00-G1345	エラー履歴_No.13_軸
	U00-G1346	エラー履歴_No.13_コード

タイプ	デバイス番号	用途
	U00-G1347	エラー履歴_No.13_日、時
	U00-G1348	エラー履歴_No.13_分、秒
	U00-G1349	エラー履歴_No.14_軸
	U00-G1350	エラー履歴_No.14_コード
	U00-G1351	エラー履歴_No.14_日、時
	U00-G1352	エラー履歴_No.14_分、秒
	U00-G1353	エラー履歴_No.15_軸
	U00-G1354	エラー履歴_No.15_コード
	U00-G1355	エラー履歴_No.15_日、時
	U00-G1356	エラー履歴_No.15_分、秒
	U00-G1358	ワーニング履歴_No.0_軸
	U00-G1359	ワーニング履歴_No.0_コード
	U00-G1360	ワーニング履歴_No.0_日、時
	U00-G1361	ワーニング履歴_No.0_分、秒
	U00-G1362	ワーニング履歴_No.1_軸
	U00-G1363	ワーニング履歴_No.1_コード
	U00-G1364	ワーニング履歴_No.1_日、時
	U00-G1365	ワーニング履歴_No.1_分、秒
	U00-G1366	ワーニング履歴_No.2_軸
	U00-G1367	ワーニング履歴_No.2_コード
	U00-G1368	ワーニング履歴_No.2_日、時
	U00-G1369	ワーニング履歴_No.2_分、秒
	U00-G1370	ワーニング履歴_No.3_軸
	U00-G1371	ワーニング履歴_No.3_コード
	U00-G1372	ワーニング履歴_No.3_日、時
	U00-G1373	ワーニング履歴_No.3_分、秒
ワード	U00-G1374	ワーニング履歴_No.4_軸
	U00-G1375	ワーニング履歴_No.4_コード
	U00-G1376	ワーニング履歴_No.4_日、時
	U00-G1377	ワーニング履歴_No.4_分、秒
	U00-G1378	ワーニング履歴_No.5_軸
	U00-G1379	ワーニング履歴_No.5_コード
	U00-G1380	ワーニング履歴_No.5_日、時
	U00-G1381	ワーニング履歴_No.5_分、秒
	U00-G1382	ワーニング履歴_No.6_軸
	U00-G1383	ワーニング履歴_No.6_コード
	U00-G1384	ワーニング履歴_No.6_日、時
	U00-G1385	ワーニング履歴_No.6_分、秒
	U00-G1386	ワーニング履歴_No.7_軸
	U00-G1387	ワーニング履歴_No.7_コード
	U00-G1388	ワーニング履歴_No.7_日、時
	U00-G1389	ワーニング履歴_No.7_分、秒
	U00-G1390	ワーニング履歴_No.8_軸
	U00-G1391	ワーニング履歴_No.8_コード
	U00-G1392	ワーニング履歴_No.8_日、時
	U00-G1393	ワーニング履歴_No.8_分、秒
	U00-G1394	ワーニング履歴_No.9_軸
	U00-G1395	ワーニング履歴_No.9_コード
	U00-G1396	ワーニング履歴_No.9_日、時
	U00-G1397	ワーニング履歴_No.9_分、秒
	U00-G1398	ワーニング履歴_No.10_軸
	U00-G1399	ワーニング履歴_No.10_コード
	U00-G1400	ワーニング履歴_No.10_日、時

タイプ	デバイス番号	用途
	U00-G1401	ワーニング履歴_No.10_分、秒
	U00-G1402	ワーニング履歴_No.11_軸
	U00-G1403	ワーニング履歴_No.11_コード
	U00-G1404	ワーニング履歴_No.11_日、時
	U00-G1405	ワーニング履歴_No.11_分、秒
	U00-G1406	ワーニング履歴_No.12_軸
	U00-G1407	ワーニング履歴_No.12_コード
	U00-G1408	ワーニング履歴_No.12_日、時
	U00-G1409	ワーニング履歴_No.12_分、秒
	U00-G1410	ワーニング履歴_No.13_軸
	U00-G1411	ワーニング履歴_No.13_コード
	U00-G1412	ワーニング履歴_No.13_日、時
	U00-G1413	ワーニング履歴_No.13_分、秒
	U00-G1414	ワーニング履歴_No.14_軸
	U00-G1415	ワーニング履歴_No.14_コード
	U00-G1416	ワーニング履歴_No.14_日、時
	U00-G1417	ワーニング履歴_No.14_分、秒
	U00-G1418	ワーニング履歴_No.15_軸
	U00-G1419	ワーニング履歴_No.15_コード
	U00-G1420	ワーニング履歴_No.15_日、時
	U00-G1421	ワーニング履歴_No.15_分、秒
	U00-G1431	緊急停止入力
	U00-G1456	エラー履歴_No.0_月
	U00-G1457	エラー履歴_No.1_月
	U00-G1458	エラー履歴_No.2_月
	U00-G1459	エラー履歴_No.3_月
ワード	U00-G1460	エラー履歴_No.4_月
	U00-G1461	エラー履歴_No.5_月
	U00-G1462	エラー履歴_No.6_月
	U00-G1463	エラー履歴_No.7_月
	U00-G1464	エラー履歴_No.8_月
	U00-G1465	エラー履歴_No.9_月
	U00-G1466	エラー履歴_No.10_月
	U00-G1467	エラー履歴_No.11_月
	U00-G1468	エラー履歴_No.12_月
	U00-G1469	エラー履歴_No.13_月
	U00-G1470	エラー履歴_No.14_月
	U00-G1471	エラー履歴_No.15_月
	U00-G1472	ワーニング履歴_No.0_月
	U00-G1473	ワーニング履歴_No.1_月
	U00-G1474	ワーニング履歴_No.2_月
	U00-G1475	ワーニング履歴_No.3_月
	U00-G1476	ワーニング履歴_No.4_月
	U00-G1477	ワーニング履歴_No.5_月
	U00-G1478	ワーニング履歴_No.6_月
	U00-G1479	ワーニング履歴_No.7_月
	U00-G1480	ワーニング履歴_No.8_月
	U00-G1481	ワーニング履歴_No.9_月
	U00-G1482	ワーニング履歴_No.10_月
	U00-G1483	ワーニング履歴_No.11_月
	U00-G1484	ワーニング履歴_No.12_月
	U00-G1485	ワーニング履歴_No.13_月
	U00-G1486	ワーニング履歴_No.14_月

タイプ	デバイス番号	用途
ワード	U00-G1487	ワーニング履歴_No.15_月
	U00-G31300	エラー履歴_No.0_サーボ
	U00-G31301	エラー履歴_No.1_サーボ
	U00-G31302	エラー履歴_No.2_サーボ
	U00-G31303	エラー履歴_No.3_サーボ
	U00-G31304	エラー履歴_No.4_サーボ
	U00-G31305	エラー履歴_No.5_サーボ
	U00-G31306	エラー履歴_No.6_サーボ
	U00-G31307	エラー履歴_No.7_サーボ
	U00-G31308	エラー履歴_No.8_サーボ
	U00-G31309	エラー履歴_No.9_サーボ
	U00-G31310	エラー履歴_No.10_サーボ
	U00-G31311	エラー履歴_No.11_サーボ
	U00-G31312	エラー履歴_No.12_サーボ
	U00-G31313	エラー履歴_No.13_サーボ
	U00-G31314	エラー履歴_No.14_サーボ
	U00-G31315	エラー履歴_No.15_サーボ
	U00-G31316	ワーニング履歴_No.0_サーボ
	U00-G31317	ワーニング履歴_No.1_サーボ
	U00-G31318	ワーニング履歴_No.2_サーボ
	U00-G31319	ワーニング履歴_No.3_サーボ
	U00-G31320	ワーニング履歴_No.4_サーボ
	U00-G31321	ワーニング履歴_No.5_サーボ
	U00-G31322	ワーニング履歴_No.6_サーボ
	U00-G31323	ワーニング履歴_No.7_サーボ
	U00-G31324	ワーニング履歴_No.8_サーボ
	U00-G31325	ワーニング履歴_No.9_サーボ
	U00-G31326	ワーニング履歴_No.10_サーボ
	U00-G31327	ワーニング履歴_No.11_サーボ
	U00-G31328	ワーニング履歴_No.12_サーボ
	U00-G31329	ワーニング履歴_No.13_サーボ
	U00-G31330	ワーニング履歴_No.14_サーボ
	U00-G31331	ワーニング履歴_No.15_サーボ

GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ(常時 ON)
	GD60031.b13	GOT エラーリセット信号
	GS512.b0	時刻変更信号
ワード	GD60000	ベース画面切り換え
	GD60001	オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え
	GD60004	オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
	GD60031、GD60041	システム情報
	GD60080～GD60082	ドキュメント表示
	GD63990～GD63995	時計のデジスイッチ
	GS513～GS516	変更時刻
	GS650～GS652	現在時刻
	TMP950～TMP996	スクリプト演算用

5.5 コメント一覧

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
500	No.1～12	B-30001～30500
	No.551～941	B-30002
	No.951～1000	B-30003
	No.1011～1033	B-30004
	No.1041～1068	B-30005
	No.1071～1086	B-30006
	No.1091～1118	B-30007
	No.1121～1129	B-30008
	No.1201～1202	W-30001
	No.1203	W-30002
	No.1204～1211	W-30003

5.6 スクリプト一覧

項目	設定
プロジェクトスクリプト	有り
画面スクリプト	B-30500
オブジェクトスクリプト	B-30500、W-30003

5.6.1 プロジェクトスクリプト

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	初期設定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40

```
[w:GD60080]=201; //ドキュメント ID に 201 を設定
[w:GD60081]=1;   //ドキュメントページNo.に 1 を設定
```

5.6.2 画面スクリプト

ベース画面 30500

スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	ドキュメント表示の最終ページの処理		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	常時

```
//総ページ数が 0 でないことを確認
if([w:GD60082]!=0){
 //現在ページ数が総ページ数を超えているか比較する
 if([w:GD60081]>[w:GD60082]){
  //表示するページを最終ページに設定する
  [w:GD60081]=[w:GD60082];
 }
}
```

5.6.3 オブジェクトスクリプト

ベース画面 30500

オブジェクト	スイッチ	オブジェクト ID*1	20021
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	デバイス書き込み時

```
//ページ数がドキュメントの総ページ数を超えないようにします。
if([u16:GD60081] >= [u16:GD60082]){
   [u16:GD60081] = [u16:GD60082] - 1;
}
```

ウィンドウ画面 30003

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID*1	20018
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り　GB40

```
//時計データより本日の年月を取得
[w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12;//桁合せ
[w:TMP968] = [w:TMP960] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] +  [w:TMP961];//TMP973 に年を BIN でセット
[w:GD63990] = [w:TMP973];//年をセット

[w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の 10 の位を取得
[w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4;//桁合せ
[w:TMP969] = [w:TMP962] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の 1 の位を取得
[w:TMP974] = [w:TMP969] +  [w:TMP953];//TMP974 に月を BIN でセット
[w:GD63991] = [w:TMP974];//月をセット

[w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12;//桁合せ
[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP975] =[w:TMP970] +  [w:TMP964];//TMP975 に日を BIN でセット
[w:GD63992] = [w:TMP975];//日をセット

[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の 10 の位を取得
[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4;//桁合せ
[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の 1 の位を取得
[w:TMP976] = [w:TMP971] +  [w:TMP957];//TMP976 に時を BIN でセット
[w:GD63993] = [w:TMP976];//時をセット

[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000;//設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12;//桁合せ
[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00;//設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP977] =[w:TMP972] +  [w:TMP967];//TMP977 に分を BIN でセット
[w:GD63994] = [w:TMP977];//分をセット

[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0;//設定用時計データより秒の 10 の位を取得
[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4;//桁合せ
[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の 1 の位を取得
[w:TMP978] = [w:TMP996] +  [w:TMP994];//TMP978 に秒を BIN でセット
[w:GD63995] = [w:TMP978];//秒をセット
```

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID*1	20019
スクリプトユーザ ID	2		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

```
// BIN -> BCD 変換

[w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000;// 年の下 2 桁

[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10);  // 年 BIN -> BCD
[w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10);  // 月 BIN -> BCD
[w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10);  // 日 BIN -> BCD
[w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10);  // 時 BIN -> BCD
[w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10);  // 分 BIN -> BCD
[w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10);  // 秒 BIN -> BCD
```

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID*1	20020
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

```
// 年月設定
[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981];  // 変更時刻デバイスに年月セット
```

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID*1	20021
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

```
// 日時設定
[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983];  // 変更時刻デバイスに日時セット
```

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID*1	20022
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

```
// 分秒設定
[w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985];  // 変更時刻デバイスに分秒セット
```

オブジェクト	数値表示	オブジェクト ID*1	20023
スクリプトユーザ ID	6		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時

```
// 曜日設定
[w:TMP986] = [w:GD63990];  //年(BIN)
[w:TMP987] = [w:GD63991];  //月(BIN)
[w:TMP988] = [w:GD63992];  //日(BIN)

if(([w:TMP987] == 1) || ([w:TMP987] == 2)){//1･2 月の場合のみ前年の 13･14 月として計算するための補正
処理
  [w:TMP986] =[w:TMP986] - 1; //年から 1 を減算
  [w:TMP987] =[w:TMP987] + 12;//月に 12 を加算
}

[w:TMP989] = [w:TMP986]/4;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP990] = [w:TMP986]/100;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP991] = [w:TMP986]/400;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5;//ツェラーの公式に必要な項を作成

//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット
[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;
```

*1 オブジェクト ID は画面流用時に変更される場合があります。

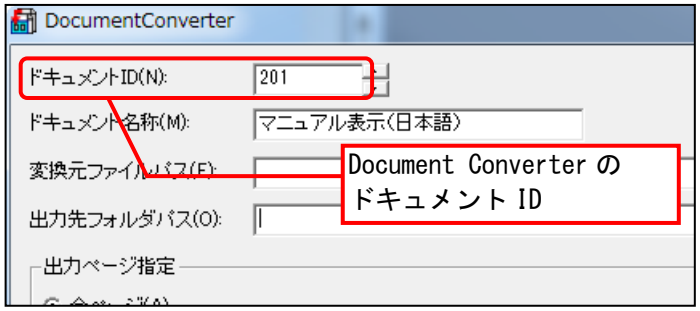
6. マニュアル表示について

マニュアル表示は、ドキュメント表示機能を使用して表示しています。ドキュメント表示機能の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。ドキュメント表示機能は言語切り換えに非対応のため、サンプル画面では選択した表示言語にあわせてドキュメント ID を変更することで、ドキュメントの言語切り換えを実現しています。

6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備

例：ベース画面 B-30500：マニュアル表示に日本語のマニュアル(ドキュメント)を表示する場合

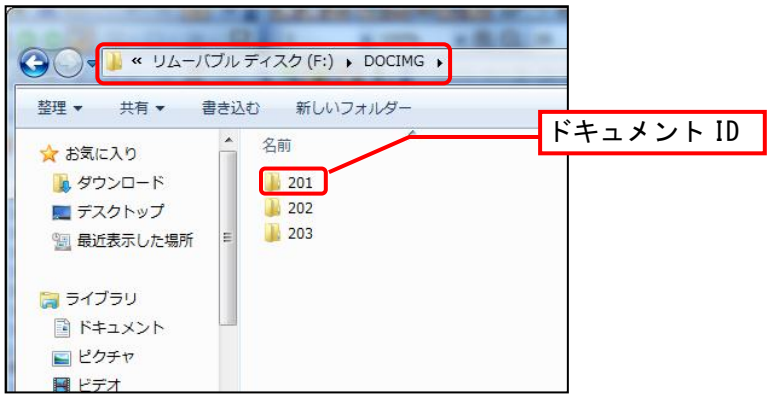
(1) 表示するマニュアル(Word や Excel など)を Document Converter を使用してドキュメント表示機能用のドキュメントデータ(JPEG ファイル)に変換します。Document Converter の[ドキュメント ID]に 201 を設定します。
※ドキュメント ID と表示言語の対応は下記表を参照してください。



コメントグループ列 No.	言語	ドキュメント ID
1	日本語	201
2	英語	202
3	中国語(簡体)	203

※Document Converter は 2.09K 以降のバージョンを使用してください。2.08J 以前のバージョンだと総ページ数とページ切り換えスイッチが正しく動作しません。

(2) ドキュメントデータは DOCIMG フォルダの 201 フォルダ内に生成されます。DOCIMG フォルダ以下のフォルダ構成は変更せずに、DOCIMG フォルダごと SD カードのルートディレクトリに保存してください。



SD カードのフォルダ構成

備考：総ページ数が 100 ページ以上の場合
本サンプルは総ページ数が 99 ページまでのドキュメントを想定しています。100 ページ以上の場合は、
総ページ数および現在表示中ページ番号の表示を行う数値表示の書式文字列(#の数)を修正してください。

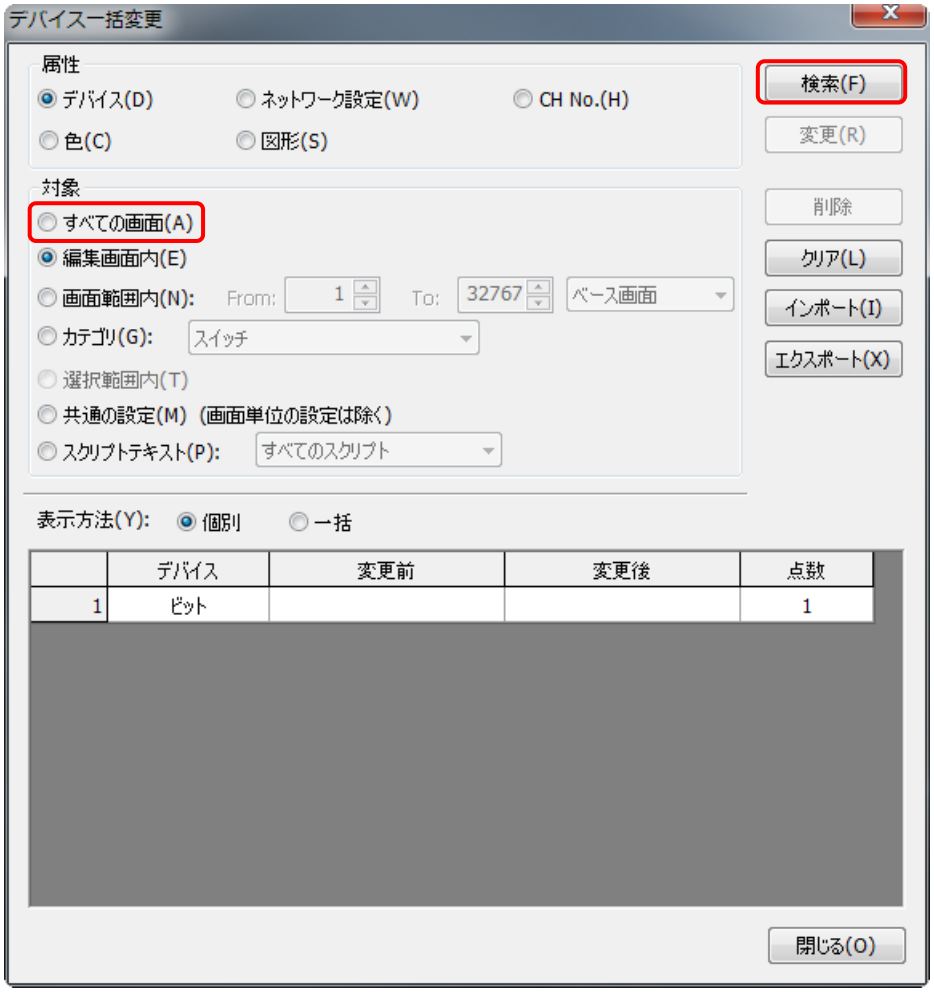
7. その他

7.1 先頭入出力番号の変更

ユニットの先頭入出力番号を 0H 以外に変更する場合は、以下の手順で変更してください。
（例：先頭入出力番号を 0H から 20H に変更する場合）

(1)　[検索/置換]-[一括変更]-[デバイス]メニューを選択します。

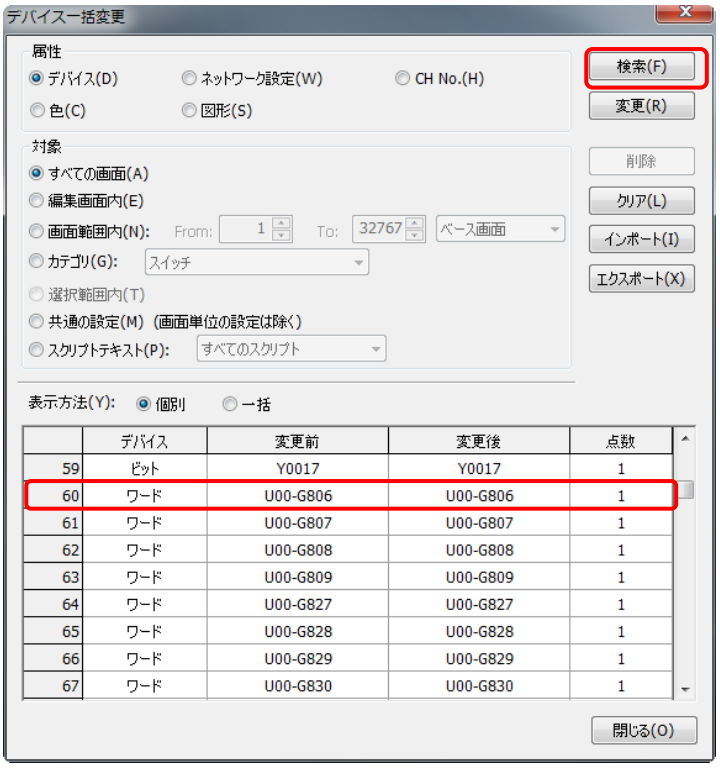
(2)　設定ダイアログが表示されるので、対象[すべての画面]を選択し、[検索]をクリックします。



(3) [変換後]のデバイス、[点数]を設定して、一括変更を実施します。

・ バッファメモリの先頭入出力番号の変更

[変換前]U00-G806、[変換後]U02-G806、[点数]30532 を設定して[変更]をクリックします。U00-G806～U00-G31337 が U02-G806～U02-G31337 へ変更されます。

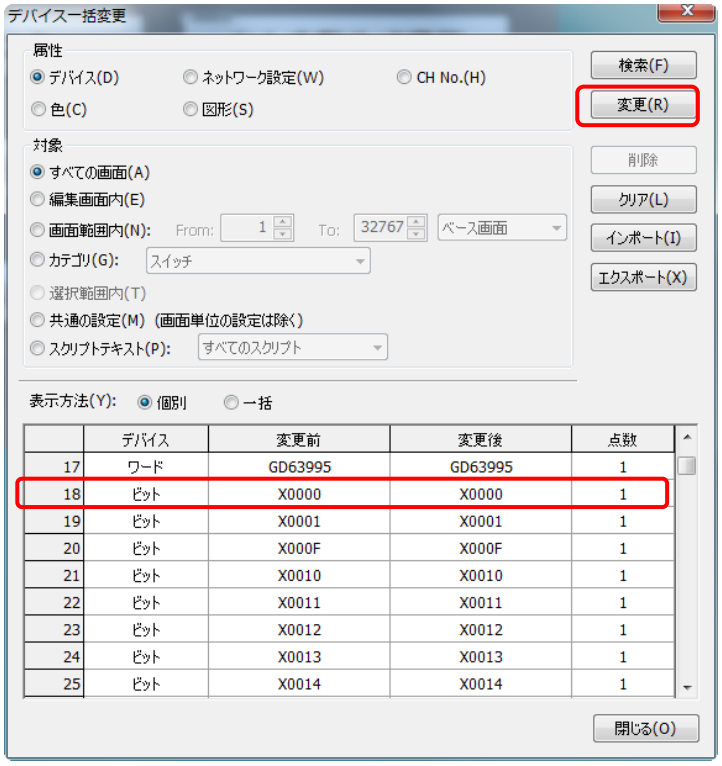


	デバイス	変更前	変更後	点数
59	ビット	Y0017	Y0017	1
60	ワード	U00-G806	U00-G806	1
61	ワード	U00-G807	U00-G807	1
62	ワード	U00-G808	U00-G808	1
63	ワード	U00-G809	U00-G809	1
64	ワード	U00-G827	U00-G827	1
65	ワード	U00-G828	U00-G828	1
66	ワード	U00-G829	U00-G829	1
67	ワード	U00-G830	U00-G830	1

・ 入出力信号の先頭入出力番号の変更

入力信号(X デバイス)の変更は、[変換前] X0000、[変換後]X0020、[点数]32 を設定して[変更]をクリックします。X0000～X001F が X0020～X003F へ変更されます。

出力信号(Y デバイス)の変更は、[変換前] Y0000、[変換後]Y0020、[点数]32 を設定して[変更]をクリックします。Y0000～Y001F が Y0020～Y003F へ変更されます。



	デバイス	変更前	変更後	点数
17	ワード	GD63995	GD63995	1
18	ビット	X0000	X0000	1
19	ビット	X0001	X0001	1
20	ビット	X000F	X000F	1
21	ビット	X0010	X0010	1
22	ビット	X0011	X0011	1
23	ビット	X0012	X0012	1
24	ビット	X0013	X0013	1
25	ビット	X0014	X0014	1